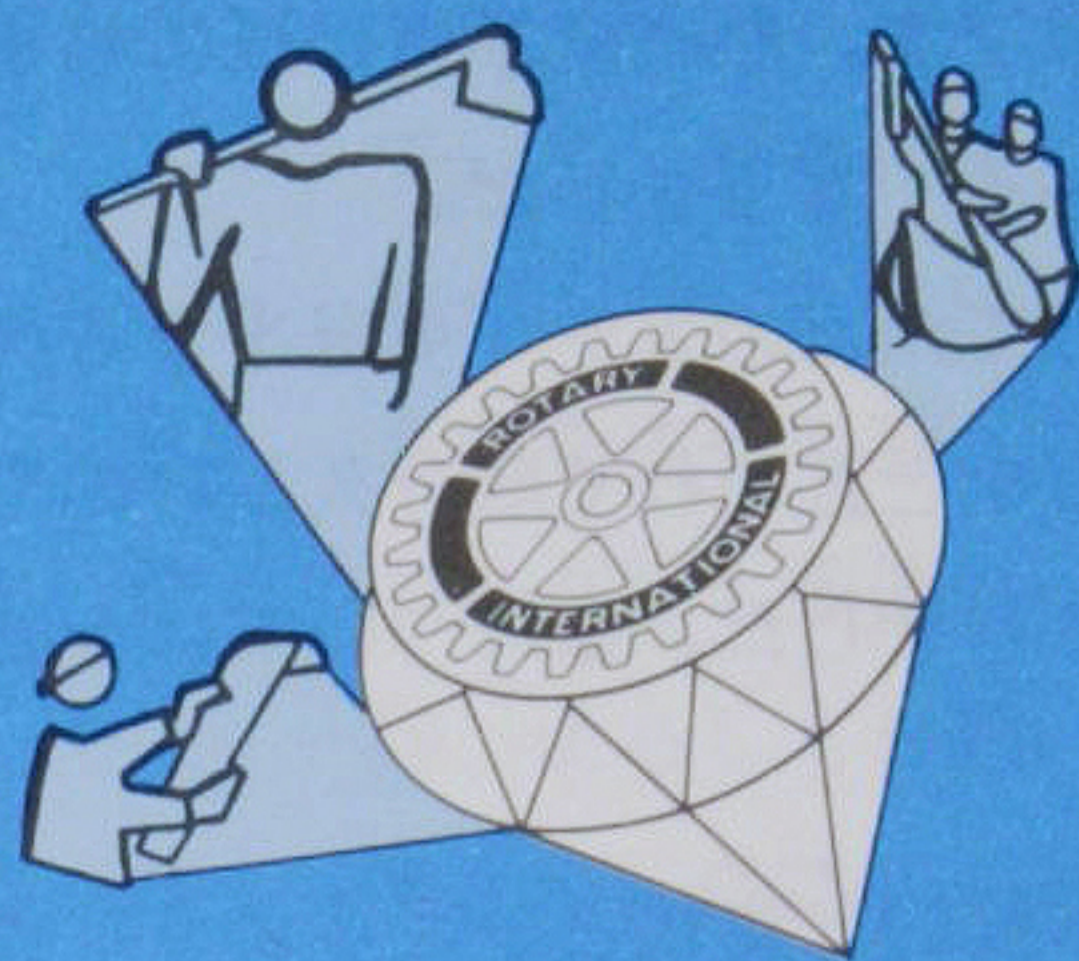


ENJOY ROTARY!



ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ●第256地区ガバナー 吉野 一郎
- 会長 — 小林 英雄 ●副会長 — 小林九満太 ●幹事 — 五十嵐昭一
- SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ●例会日 — 毎週水曜日 12:30~
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

出席会員数

会員 74名中 51名

先々週出席率

91.43% (前年同期 94.12%)

ビジター

三条南より 大竹和男君、韭沢喜一郎君
三条北より 山上茂夫君

先週のメイクアップ

- 1/25 加茂へ 山谷春夫君
- 1/25 燕へ 外山一郎君
- 1/29 三条南へ 小林敬典君、加藤紋次郎君、野村竹三郎君、
藤田紘一君、岩井数央君、外山一郎君、
伊藤廣一君、斎藤弘文君、渡辺宏策君、
熊倉昌平君、五十嵐晋三君
- 1/30 三条北へ 古沢富雄君、斎藤弘文君、岩井数央君、
大谷幸平君
- 1/30 捧 賢一君

会長挨拶

小林(英)会長

月日の経過は早いものです。平成2年も今日でもう1ヶ月が終わります。大寒に入ってから、この冬一番の寒さが続いておりますが、暦の上では、あと4日で立春です。例年2

月は低い気温が続きますが、その寒さの中での総選挙です。熱い選挙戦は既に始まっているようです。新聞の時事川柳にも選挙に関するものが多くなりました。

「パチンコの音が小さい選挙前」「バンザイを三唱してただの人」「引退をする代議士が偉く見え」、などがありました。金のかからない政治をと言われて随分久しいのですが、「けじめにもみそぎにもいる億の金」、という句がありました。金については今回も駄目なんでしょうか。

これまでの歴史に見られなかったような性質の、本質的な変化と思えるような変革が、世界的に起りつつある時、国内での「蝸牛角上の争い」のような事は、早々に終止符を打つべきと思います。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

・新潟RCより 創立50周年式典のご案内がとどいております。

と き 4月21日(土) PM13:30~

と ころ ホテル イタリア軒

申込方法 2月20日まで必着

2月のお祝い

- | | | | |
|----------|-----------------|----------------|-----------|
| ◎会員誕生祝 | 4日 荻根沢隆雄君 | 5日 川又嘉瑞範君 | 10日 藤田説量君 |
| | 10日 高森昭光君 | 17日 加藤紋次郎君 | 23日 滝沢富雄君 |
| | 26日 斎藤弘文君 | 26日 伊藤廣一君 | |
| ◎夫人誕生祝 | 7日 藤田 智さん(説量) | 9日 藤田幸子さん(絃一) | |
| | 9日 長谷川美智子さん(有美) | 15日 渡辺イツさん(惣吉) | |
| | 15日 上木キヨさん(六治) | | |
| ◎結婚記念 | 22日 榎本 勝君 | 25日 斎藤弘文君 | 27日 渋谷正一君 |
| ◎100%出席賞 | 3年 榎本 勝君 | | |

ニコニコボックス ¥23,000

大竹和男君(三条南)

新年おめでとうございます。

堀川君 父の葬儀に際し、御会葬賜わりありがとうございました。今後ともよろしくお祈りします。

小林(英)君 お寒い中、皆様ようこそご出席下さいました。風邪にはご用心を。濱さんの卓話で今日は勉強させていただきます。

- 吉井君 先週日曜日、新設の舞子スキー場で新雪の中をカッコをつけながら滑っていて、見事にスッテンテンと転んでしまいました。深雪の中をモガキながらやっと抜け出して来ました。骨折も無く無事帰って来ました。
- 濱君 卓話をさせて頂き有難う御座居ます。
- 榎本君 プログラム委員の任期がもう5ヶ月残っておりますが、引続き御協力の程、よろしくお願い申し上げます。
- 丸山君 濱さん、卓話ごくろうさんです。
- 渋谷(正)君 渡辺義雄写真展が体育文化センターにて2月3日から2月12日まで開かれます。宮殿内部を自分の目でよく見て下さい。
- 藤村君 仕事の都合で早退いたします。
- 五十嵐(力)君 久しぶりにホームクラブに出席しました。今年もよろしくお願い致します。
- 五十嵐(晋)君 ニコニコ御迷惑かけました。

卓話

NTT三条支店長 濱 潔 君



今年6月にサービス開始をする日本テレコム(株)とNTTとの相違等についてお話をいたします。昭和60年4月電々公社からNTTに民営化されました。電気通信事業法の施行に伴い、電々公社の独占であった電気通信が、日本国民の誰でもが、資金と技術があればできることになりました。いわゆる電気通信事業の開放であります。

当時新規参入として名乗りでた企業が、第二電々(株)、日本高速通信(株)、東京通信ネットワーク(株)、日本テレコム(株)の四社です。

電気通信事業を営むことができるのは、第一種電気通信事業者と第二種電気通信事業者の二つであり、第一種電気通信事業者は、電気通信回線設備を自分で作って通信を行うものであり、その設備を借りて通信を行うVAN等が第二種電気通信事業者です。

NTTは勿論第一種電気通信事業者であります。

日本テレコム(株)は、JR系でありダイヤル通話、専用線等のサービスを提供する第一種通信事業者であります。

JR系ですから新幹線の下に光ファイバーケーブルを張り、通信事業を行うので土地等

の折衝がなく、かなりのスピードで営業範囲の拡張を行っています。

最初に営業を開始したのが、昭和61年8月の東名阪であり、現在では、東京から福岡まで伸びております。

続いて東北（東京～郡山）が昨年1月にサービスを開始し、さらに今年の6月には新潟がサービスを開始することになりました。

日本テレコムのかこれまでの営業範囲を見ると東京～福岡間、東京～郡山間いずれも太平洋側でありました。東京～新潟間にみられるように新幹線添いの全域に営業範囲を拡大しております。

日本テレコム等、新しい事業者は、ダイヤル通話で自分でもうかると思う所だけ営業できますが、NTTは、過そ地域や離島等、全国どこでも全偏的にサービス提供の義務が法律で定められているため、採算が合わなくてもサービスの提供をしなければなりません。

しかし、日本テレコムは、もうかるところの市外だけを営業するものですから、絶対黒字になるわけです。

日本テレコムがNTTより二割安いと言うことで皆様に契約を勧めておりますが、本当にそうであるかどうか、結論から言いますと、すべて二割安いわけではなく、NTTの方が安い場合がかなりあります。

そこでNTTのダイヤル通話の料金体系を見ると次のようになっております。

1. 区域内通話（市内）——三条、栄町、下田、燕、加茂、田上内での通話
2. 隣接地域通話——新潟、新津、巻、長岡への通話
3. 区域外通話——区域内、隣接地域以外への通話

三条、新潟、新津等料金単位となる支店が全国に約3千支店あります。

東京～新潟間を見ますと、幹線部分は、確かに二割安いですが、幹線から降りるには、降り口が必要であり、その降り口から皆様のところまでNTTの回線を使うこととなります。

この降り口をPOI（ポイントオブインターフェイス）と言い、新潟、長岡に設置されますが、三条には設置されません。

例えば三条市から糸魚川市へ電話をした場合、NTTですと三条～糸魚川までは、地図上の直線距離で料金が決められます。日本テレコムの場合ですと、三条からNTT回線を使って新潟のPOIへ行き、そこで日本テレコムの回線に乗り長岡POIで降りることになります。

そこから先は、NTT回線を使い糸魚川まで行くわけですから、確かに新潟、長岡間の幹線部分は二割安いですが、三条～新潟間、長岡～糸魚川間のNTT料金が加算されますので、NTTの料金より高くなります。したがって県内では、ほとんどNTTが有利となります。

又、POIからお客様までの距離が遠くなればなるほどNTTが有利となり、POIに

近ければ日本テレコムが有利となります。一言でいえば距離が短かくて、通話時間が1分以内であれば断然NTT有利となりますし、逆に距離が長く、通話時間が長ければ日本テレコム有利となります。

日本テレコムではNTTか日本テレコムか通話料金の安い方を自動的に選択して接続するアダプターを契約者に3百円程度で貸しつけております。

このアダプターは、3分間話をしたという前提で設定されています。1分間設定のアダプターを使えば先ほどの説明のように通話時間が短いのでNTT回線を選択することが多くなります。

しかしながら日本テレコムでは、3分間設定のアダプターしか使用しておりません。

最後に電気通信事業の競争原理を取り入れて日本テレコムが参入して来るわけですが、皆様が、日本テレコムと契約されるか、されないかについては、公正競争の観点から自由であります。

私としては、NTTのサービスをご理解いただき、ご利用いただけるものと思っております。

今後ともNTTをよろしく願いたします。

次 週 例 会	2月7日	新年会	PM6; 30~	於 二洲楼
次々週例会	2月14日	卓話	新潟地方家庭裁判所 民事・家事調停委員	三条支部 五十嵐サチ殿

この活動は、アフリカ、アジア、南米の発展途上国で、ポリオの撲滅を目指すための重要な取り組みです。日本赤十字社は、この活動に積極的に参加し、資金協力や技術支援を行っています。

ポリオは、主に5歳未満の子供に感染するウイルス性の病気です。かつては、日本でも多くの子供が感染し、麻痺や死亡を引き起こしていました。しかし、ワクチン接種の普及により、日本ではポリオはほぼ撲滅されました。

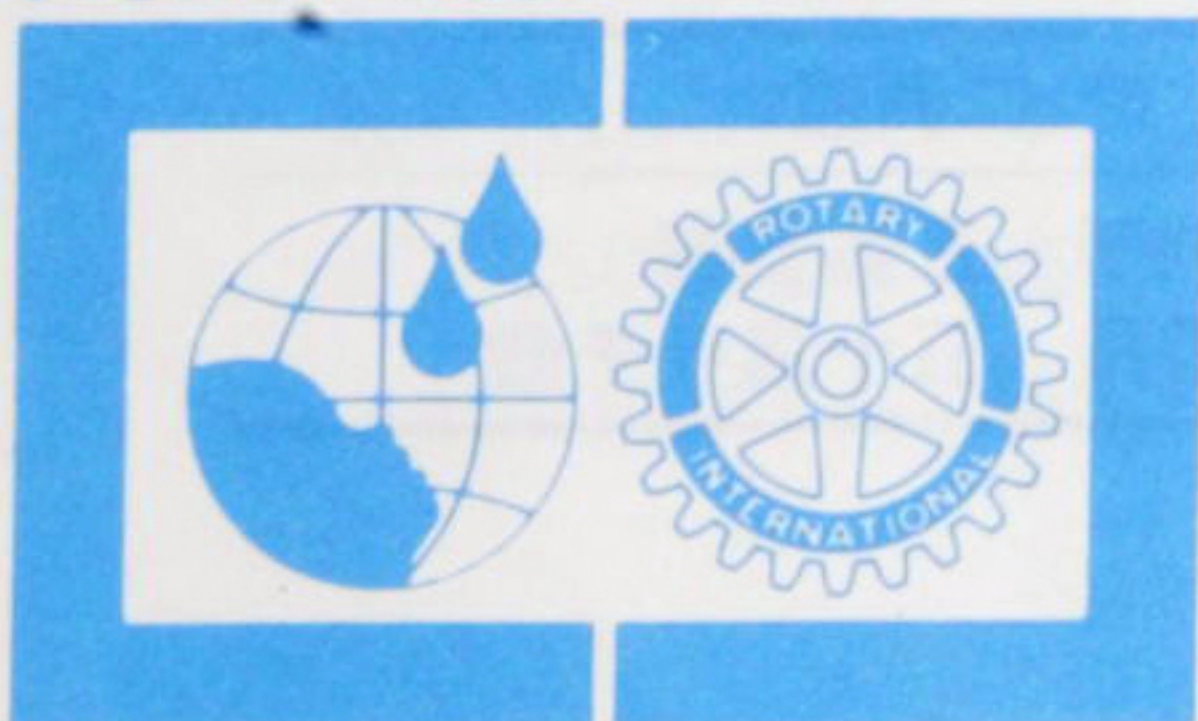
しかし、アフリカやアジアの一部の国々では、ポリオはまだ流行しています。これらの国々では、衛生環境の悪化やワクチン接種率の低下が、ポリオの流行を助長しています。

日本赤十字社は、これらの国々でポリオの撲滅を目指すために、資金協力や技術支援を行っています。具体的には、ワクチンの供給、接種キャンペーンの実施、保健従事者の訓練などを行っています。

また、日本赤十字社は、ポリオの撲滅を目指すだけでなく、発展途上国の保健医療体制の強化にも取り組んでいます。例えば、保健施設の整備や医療従事者の訓練などを行っています。

ポリオの撲滅は、人類共通の課題です。日本赤十字社は、この課題に取り組むために、今後も積極的に参加し、資金協力や技術支援を行ってまいります。

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”